

## 「通勤も切実な勤務・労働条件です。」 希望に沿う人事異動を要求!

### 市教委に対し、人事異動要求書を提出!

全教北九州は、「人事異動に関する要求書」を市教委に提出、12月20日には人事異動にかかわる市教委交渉をしました。全教北九州は、「勤務地までの移動時間の長短は、勤務・労働条件にかかわる要求」という位置づけで、教職員すべての希望に沿う異動を行うよう要求しています。

#### 本年度の人事異動基本要

◎教職員の合意と納得の得られる人事異動とすること。

◎長時間過密労働改善及び「働き方」見直しのための方策として、通勤時間短縮を勤務・労働条件整備の一環として位置づけ取り組むこと。

以上二点を基本要として、18項目の具体要求をもとに交渉しました。

併せて、全教組合員の異動についても、異動調査に基づき組合員の希望に沿う人事異動を行うよう要求しました。

#### 教職員が安心して働ける

##### 労働環境を整えろ!

居住地に近い勤務校への異動はもとより、育児、介護などの諸事情

異動(強い留任も含む)希望される先生は、下記に記した日程及び定例会レジュメを参考にして、期日までに異動に係る書類を提出してください。特に職場で異動対象になる先生は担当執行委員と連絡を取り合って異動(留任)希望理由等の確認をお願いします。

#### ①異動に係る書類について

職場での異動ヒヤリングの際、所属長に異動希望理由を述べたものと同様の内容を組合の書類にも書いてください。(プライベートな内容についてもできるだけ詳しく)

#### ②異動書類の管理職への提出

異動に係りそうな場合は必ず管理職に様式1の書類を渡してください。

#### ③人事異動にかかわる

##### これからの日程

2月に異動書類を取りまとめたものを市教委に提出します。その際、異動希望の先生方一人ひとりの希望内容を詳しく口頭で伝えます。その後も希望の変更は、その都度伝えまます。3月まで希望に沿う異動になるよう交渉は続けます。

### ひびき灘

今年も再任用希望者を集めての説明会が行われました。市費負担教職員に変わっての最初の説明会という事で、質問の時間には参加者より不安の声が多数聞かれました。

野々平課長の挨拶では、「大量採用に際し、教育文化を継承するためにこれからも力を貸していただきたい」「講師不足のなか、ぜひフルタイム再任用を希望してもらいたい」などの話がありました。

会場からは、「フルタイムで働きたくても学級担任が条件では、体力的に無理。もう少し柔軟な働き方はできないのか」「学級担任をして同じ働き方なのに、待遇が下がるのは納得できない。」等の意見がでました。また、再任用の条件についても質問があり、「再任用を希望しているのに任用されないこともあるのか」という質問も。再任用の本来の趣旨は、生活の糧である収入と年金の接続であり、希望者に対し再任用拒否は許されません。異動の件でも希望が無視されるような異動が行われていることに不満の声も出ています。先日の異動の交渉でもそのような声を教育委員会に伝えましたが、働き方改革より「学力・体力向上」の施策が優先順位は上というのは来年度も変わりなしのようです。



平和に生きる未来のため、  
子どもたちの権利としての教育を  
力をあわせてめざしましょう



全日本教職員組合（全教）  
中央執行委員長 蟹澤昭三

新年、あけましておめでとうございます。

日本国憲法が施行されて70年、教育基本法が制定されて70年になる今年、学校現場で働く教職員だからこそ、あらためて「人格の完成」とは何をめざすのか、そのために私たちがすすめるべき教育実践は何なのかを、お互いに交流し、積み上げていきたいと思ひます。

いま世界では、貧困と格差を拡大し続けてきたグローバリズムが、民衆からの大きな反撃に直面しています。この問題に関連して、国連は、2030年に向けての目標を採択しています。その第1は「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わせる」ことで、教育については「すべての子どもが、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了」できることを掲げています。

教育の果たすべき役割は、文化の発展に寄与し歴史を前にすすめると同時に、次世代の格差を縮小し、真に平和で自由な社会をつくっていくことにこそあると思ひます。国や企業にとって役に立つかどうかという新自由主義的なものさしを教育の場に持ち込むだけでは、子どもたちは押し潰されてしまひます。

いま必要なのは、子どもたちが、お金の心配なしに学べること、教職員がゆとりと創意を持って一人ひとりの子どもたちの成長に寄り添った教育実践にとりくむための条件整備です。そのための政治の転換と国民的合意を広げるとりくみを、みなさんとともにすすめていきたいと思ひます。

## 全国教育署名 542万5529筆を集約し国会に提出!

2016年度の「ゆきとどいた教育を求める全国署名」は、542万5529筆の署名が集まりました。この北九州でも、3回のJR小倉駅、戸畑駅での街頭宣伝、署名活動を行い、多くの市民の皆さんに少人数学級早期実現協力の声かけをしました。また、本年度も北九州すべてのPTA会長宛に署名用紙を発送し、署名の依頼をしました。この取り組みでは、毎年20校程度の学校から署名が組合に戻ってきます。また、市議会への請願行動では、中川書記長が請願の趣旨を述べ、すべての学級で少人数学級が実現するように訴えました。市議会の本会議でも大石議員が私たちの運動の趣旨にそった発言を行っています。このように今年度も職場、地域、学校PTAなど様々な手段を講じて早期実現のために多くの皆さんに協力の訴えをしてきました。

しかし、教職員の多忙化の中、職場で署名を訴える時間の確保も難しくなっており、署名数が徐々に少なくなってきました。来年度は数でも活動内容でも今年度を上回る取組にしましょう。



皆さんの参加をお待ちしています。



# 中国・四国・九州ブロック

## 障害児学校・学級学習交流集会

- ・日時 1月21日(土) 13:30開会、22日(日) 11:45閉会
- ・場所 旧大連航路上屋(門司港レトロ)  
[JR門司港駅から徒歩5分]
- ・参加費 2000円(組合員 1500円)

<p><b>21日 行事日程</b> <b>13:30~16:30</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調報告</li> <li>・記念講演 講師：井本雅和さん (学習サポート事務局長)</li> </ul> <p><b>講演テーマ：誰もが輝ける場を</b> —個別にサポートが必要な子どもたちの居場所づくり—</p>
<p><b>18:00~</b></p>	<p><b>夕食交流会</b></p>
<p><b>22日 行事日程</b> <b>9:10~</b> <b>11:45</b></p>	<p>第一分科会：障害児とのコミュニケーション、第二分科会：障害児と音楽教育、第三分科会：特別支援学級の教育、第四分科会：明日から役立つ教材・教具の工夫、第五分科会：キャリア教育を考える、第六分科会：保護者の願い</p> <p>(分科会終了後解散)</p>

### 1月の主な行事予定

- 1月 6日(金) せんせいの学校 【ウェルとばた】
  - 1月 13日(金) 定例会【高見市民センター】 地区労連旗開き
  - 1月 14日(土) 女性部総会・学習会【ウェルとばた】
  - 1月 21日、22日(土、日) 中四九障害児学校・学級学習交流集会 in 北九州  
【門司港 大連航路上屋】
- ※人事異動の取組について・・・関係書類を期日までに必ず提出してください。



# 教育長からは、勤務条件改善に向けて前向きな答弁も

「権限移譲問題」が市議会で取り上げられました。

12月定例会市議会で権限移譲に関する条例が決まりました。これに向け組合は、議員さんたちに権限移譲の問題点や関心を持ってもらい市議会でも子どもや教職員の立場から意見を言ってもらうために、市議会全会派に権限移譲で教職員の給与や労働条件が変わる資料と全国の少人数学級実施状況の資料を渡しました。

## 議員質問に対し教育長答弁は

12月2日、本議会で権限移譲に関する一設質疑がありました。聞き、傍聴に行っていました。共産党の大石市議が、地域手当の削減により給与が下がることや病気休暇や子育て支援休暇の切り下げなどをかたり時間を使って質問しました。

○県下で北九州市の教職員だけが給与が大幅に下がり、教員をめざす優秀な人材が流失し教育の質が低下しないのか。  
▶北九州市は扶養手当が県より高いので、一概に下がるとはいえない。人材流出を防ぐためには、働きやすい環境をつくり多忙化解消に努める。

○病気休暇の時間単位の取得がなくなり1日単位になると、ただでさえ定数が欠けている学校現場で子どもたちの学習が保証されるのか。

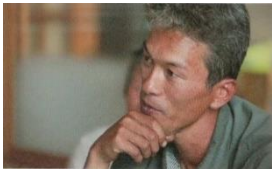
▶加配教員、教務主任、教頭が入るようになってきている。学校によって事情が違うが、教育委員会も含めて学校が責任を持つている。

○インフルエンザによる病気休暇の場合にも診断書がいるのはおかしいのではないかと。職員団体や現場からも意見が多く上がっていて今後の課題にしている。

## 給与等の待遇低下は明らかです。

市は、給与の削減に契して一貫して「扶養手当が県より高い」ことを根拠に「下がらない」と言っています。しかし、手当が反映されるのは一部の人手であり、地域手当減額分や期末勤続手当の職務段階別加算割合の切り下げで多くの教職員は年間収入が下がるのは必至です。

また、病気休暇に契しては、学校現場の実態を踏まえていない教育長の回答でしたが、「働きやすい環境をつくる」という前向きな回答について、具体的にどうするのか、今後の交渉で迫っていきたいと思います。



## 何か、おかしくないですか？

### 「扶養手当」は、全員が支給されてはいませんよ！

市は、給与削減の議員質問に対し、教職員全員が削減の対象となる「地域手当」と、一部の人が対象となる「扶養手当」を同列に扱い、市議会でも、また国会でも「教職員の待遇は下がらない」と答弁（させて）しています。市教委の「権限移譲ニュース」でも、同様の内容の年収シミュレーションを使い、あたかも教職員全員の年収が増えるような宣伝をしています。組合では、このような誤解を招く資料は撤回するよう抗議しました。特別な事例をあげ、それがあたかもすべての人が同じような待遇が得られるような姑息な宣伝で、教職員や議会・議員の目を逸らせようとしています。こんなやり方は許せません。

## 「多忙化解消のための校時の見直しを！！」

### ～校長会で「校時表」見直しの提案が～

12月の校長会で、小学校の校長に対し校時表見直しの提案があったようです。皆さんの学校では、校時表の変更が職員会や運営委員会で議題になっているのでしょうか。

校時表の見直しについては、全教北九州は、市教労の時代から市教委や校長会長会に「長時間過密労働の改善策」として提案してきました。しかし、今回の校長会からの提案は、授業を早く終わらせ児童を帰宅、残りの時間は教職員の教材研究・事務に充てる、というのではなく、授業後の時間を学力向上のための学習などに充てるというものです。これは、私たちの要求と相反するものです。教職員との合意もなしに、このような多忙化にさらに拍車をかけるような提案があった場合は、職場教職員の合意形成に向けて意見を言ってください。